

第4節 安全で快適な生活環境の実現

第1項（政策11） 災害に対する不安を減らすようにします

めざしたい将来像

市民一人ひとりの防災意識を高め、自助・共助・公助の災害発生時の対応体制を確立し、災害に強く命を大切にする社会を実現します。

	実績値			現状値	めざそう値	
	13年度	19年度	21年度	24年度	28年度	32年度
災害に対して自ら対策を講じている人の割合	61.7%	69.0%	70.3%	84.0%	85%	80%
総合防災訓練への対象団体の参加率	—	—	81% (47/58団体) (19年度)	87.5% (63/72団体)	100%	100%
自主防災組織の訓練実施率	31.7%	—	51.0% (19年度)	69.2%	73%	64%
自主防災組織の結成率	—	—	87.32%	78.4%	100%	100%

◆被害が軽減するようにします

◇ 地域防災活動を活性化させます

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
64	地域防災を活性化するために、自主防災組織の活性化を支援します。 【危機管理課】	地域における防災力が高まります。	自主防災組織の結成率・訓練実施率を上げます。	防災組織強化事業 （自主防災組織育成強化業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 地域の災害時の活動拠点を整備します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
65	災害時に住民へ情報を伝達するため、情報収集し、様々な方法で発信できる手段を構築します。 【危機管理課】	災害時においても情報収集・伝達ができる手段が確保されます。	現在9つある情報収集・伝達手段を、さらに拡充します。	防災施設整備事業 （通信体制整備業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◆被害の復旧ができるようにします

◇ 被害発生時に応急活動を行います

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
66	鉄道事業者、大型商業店舗、学校、県などの関係機関と協議し、帰宅困難者・駅滞留者等への対策を検討します。 【危機管理課】	帰宅困難者・駅滞留者等の安全が確保されます。	松戸駅周辺帰宅困難者等対策協議会で対策を検討し、災害時の対応を共有します。	災害活動対応事業 （防災関係機関連携業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 放射能対策を推進します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
67	放射能対策総合計画における個別実施計画（「食品安全」「環境放射線低減対策」「廃棄物処理」「健康管理」）を推進します。 【放射能対策課】	安心して健康的な日々を送れるまちなります。	放射能対策により不安を解消します。	放射能対策企画調整等事業	26	
					27	
					28	
					計	

第2項（政策12） 火災等の災害から市民生活を守ります

めざしたい将来像

市民一人ひとりが火災を発生させないようにするとともに、地域と行政で連携して、火災等による被害が少ない安全・安心なまちを実現します。

	実績値			現状値	めざそう値	
	13年度	19年度	21年度	24年度	28年度	32年度
出火率 (火災件数/対人口1万人)	3.7 (13年)	2.6 (19年)	2.4 (21年)	3.1 (24年)	2.4 (28年)	2.4 (32年)
住宅用火災警報器の 設置率	—	—	59.2%	69.2%	79.6%	90%

◆火災を予防します

◇ 火災を予防し、火災が発生しても被害を最小限に食い止める環境を作ります

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
68	住宅用火災警報器設置など、火災予防体制の充実を図ります。 【予防課】	火災による被害を最小限にすることができます。	平成 24 年 22% だった初期消火実施率を高めます。	火災予防対策事業 （火災予防普及啓発業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◆火災等の災害を拡大させない消防体制を確立します

◇ 消防指令業務の共同運用を図ります

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
69	千葉県北西部 11 市の指令業務共同運用を開始するため、方向性について検討します。 【警防課】	共同運用の方向性が明確になります。	共同指令センターについての整備計画や運営計画を作成します。	千葉北西部消防指令センター事業 （運用開始準備業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 消防施設の機能を強化します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
70	松戸市南部地域の災害対応力強化を図るため、中央消防署の建替えについて取り組みます。 【消防総務課】	中央消防署の建替えが始まります。	松戸市南部地域の災害活動拠点強化を目指し、中央消防署の建替えを開始します。	中央消防署建設事業	26	
					27	
					28	
					計	

◆災害等に迅速に対応します

◇ 地域に密着した消防団が街を守ります

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
71	地域における消防団員を確保し、災害対応への強化を図ります。 【消防総務課】	大規模災害時に備えた防災体制が整備されます。	平成 24 年 91.4%であった消防団員の充足率を高めます。	消防団活動事業 （消防団管理業務）	26	
					27	
					28	
					計	

第3項（政策13） 救急救命が必要になった市民の生命をつなぎます

めざしたい将来像

救急医療機関の受け入れ状況を的確に把握できるような救急医療システムを構築するとともに、居合わせた市民が応急手当をできるように知識・技能を向上させることで、緊急事態でもより多くの市民の生命を守ることができる安心安全なまちを実現します。

	実績値			現状値	めざそう値	
	13年度	19年度	21年度	24年度	28年度	32年度
心肺停止傷病者の 1ヶ月生存率（1ヶ月 生存者数/心肺蘇生実 施者数）	—	6.5 (19年)	6.1 (21年)	5.4 (24年)	6.1 (28年)	6.8 (32年)
救急入電から医療機関 に収容するまでに要す る時間	—	—	35.1分 (21年)	38.5分 (24年)	36.8分 (28年)	34.9分 (32年)

◆救急救命の環境をつくります

◇ 予防救急を推進します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
72	本当に救急車が必要な人が利用できるようにするために、救急車の適正利用を推進します。 【救急課】	緊急性の高い傷病者が救急車を利用できます。	平成24年実績値 46.0%であった救急搬送された傷病者のうち軽症と診断された傷病者の割合を少なくします。	予防救急推進事業	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 救急救命ネットワークを拡大します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
73	救命率の向上を図るため、講習会の開催など、応急手当技術の普及啓発を推進します。 【救急課】	適正な応急手当を実施する人が増えます。	平成24年実績値 45.1%であった心肺蘇生法実施率を高めます。	応急救護普及事業	26	
					27	
					28	
					計	

◆市民が安心できる救急体制を確立します

◇ 救急活動を行います

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
74	高い技術を持った救急救命士を養成するなど、高度な知識や技術が確保される体制を整備します。 【救急課】	高度な救急救命処置が提供できます。	救急救命士が2名以上常時乗車する体制を確立します。	高度救急関係事業 (救急救命士養成業務)	26	
					27	
					28	
					計	

第4項（政策14） 環境にやさしい地域社会をつくります

めざしたい将来像

地球温暖化防止を推進するため、行政と市民が一体となって、日常生活における省エネルギーを加速させるとともに、新エネルギーの導入に努めて、低炭素社会の基盤を作り上げます。また、市民・事業者及び市が協働して、資源の浪費とごみの排出を可能な限り少なくし、徹底した環境保全に努める社会「資源循環型社会」の構築をめざします。

	実績値			現状値	めざそう値	
	13年度	19年度	21年度	24年度	28年度	32年度
温室効果ガス削減量 (CO ₂ 換算)	—	—	142,649 t	173,524 t	352,400 t	446,800 t
廃棄物の最終処分量	20,847 t	18,640 t	18,270 t	17,900 t	14,000 t	11,000 t
二酸化窒素の 環境基準達成率	75%	75%	75%	100%	100%	100%

◆環境にやさしい行動を促進します

◇ 温室効果ガスの排出を抑制します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
75	市民、事業所とともに、地球温暖化を防止するための取り組みを進めます。 【環境政策課】	二酸化炭素の排出量を減らします。	CO ₂ 排出量を平成 24 年度推計値 1,920,000 t から 352,400 t 削減します。	地球温暖化防止事業（減 CO ₂ 大作戦推進業務、新エネルギービジョン推進業務、省エネルギービジョン推進業務）	26	
					27	
					28	
					計	
76	既存のエネルギーへの依存度を減らすため、再生可能なエネルギーや省エネルギー設備の導入を図ります。 【環境政策課】	市内の年間の電力使用量が減少します。	太陽光発電システムの補助金を年間 400 件確保します。			

◆廃棄物による環境負荷を減らします

◇ 廃棄物の減量を促進します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
77	ごみの減量・資源化をはかるため、広報活動やイベントへの参加を通じて意識の向上を図り、3Rを推進します。 【環境業務課・廃棄物対策課】	3R施策への理解が高まります。	平成 24 年度 766.8 g / 日・人であった原単位を減らします。	ごみ減量促進事業（ごみ減量促進啓発業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 廃棄物の資源化を促進します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
78	廃棄物の再資源化を図るため、市内全域での集団回収の利用を拡大します。 【環境業務課】	地域のリサイクル活動が活性化します。	平成 24 年度 470 団体であった集団回収団体数を 480 団体に増やします。	民間回収資源化システム支援事業	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 廃棄物を適正に処理します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
79	家庭ごみ分別チラシの配布、パートナー講座の実施等の啓発活動を行い、ごみ分別の徹底を図ります。 【環境業務課】	ごみの分別により廃棄物を適正に処理することができます。	平成 24 年度 831 件であった違反件数を 700 件に減らします。	ごみ分別排出指導事業	26	
					27	
					28	
					計	
80	ごみの適正な処理を進めるため、和名ヶ谷クリーンセンターの長寿命化を図ります。 【和名ヶ谷クリーンセンター】	ごみの安定的かつ効率的な処理が維持されます	平成 24 年度 9.4%であった基幹的整備が完了します。	清掃施設基幹整備事業（和名ヶ谷クリーンセンター基幹整備事業）	26	
					27	
					28	
					計	

◆大気汚染に係る物質を減らします

◆生活上の不快要因を減らします

◇環境保全、公衆衛生向上のための管理指導を行います

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
81	地域の環境を保全するため、飼い主のいない猫を減らすとともに、飼い主のマナー向上を図ります。 【環境保全課】	犬や猫に起因する苦情が減ります。	平成24年度31件であった苦情件数を減少させます。	動物飼養管理事業	26	
					27	
					28	
					計	

第5項（政策15） 犯罪や事故のない安全で快適な市民社会をつくります

めざしたい将来像

犯罪や事故、消費者トラブルのない安全・安心のまちづくりに向けて、市民一人ひとりの心がけと地域の見守り等を実施し、お互いに助け合える社会を実現します。

	実績値			現状値	めざそう値	
	13年度	19年度	21年度	24年度	28年度	32年度
刑法犯認知件数 (対1千人)	28.2件	16.4件	14.1件	13.4件	13.2件	13件
防犯用品貸与団体数	—	40団体	288団体	312団体	317団体	320団体
交通事故による死傷者数 (対1千人)	6.5人	5.4人	4.5人	3.6人	3.4人	4人
交通事故の発生件数 (対1千人)	5.3件	4.5件	3.9件	2.9件	2.8件	3.5件
消費者トラブルに 巻き込まれた人の割合	11.4%	11.0%	9.0%	8.4%	8.2%	8%

◆安心して日常生活が送れるようにします

◇ 防犯活動を支援します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
82	市民の安全・安心を確保するため、防犯灯の LED 化を進めます。 【市民自治課】	防犯環境が整備され、経費削減にもつながります。	平成 24 年度 6.5%であった LED 防犯灯の割合を 90%以上に高めます。	防犯灯整備事業	26	
					27	
					28	
					計	
83	安全・安心なまちづくりを進めるため、警防ネットワークの強化、防犯カメラの設置など、地域ぐるみでの防犯対策を推進します。 【市民安全課】	犯罪が減少し、治安の良さを実感できるようになります。	街頭防犯ネットワークカメラを 1,000 台まで増やします。	地域ぐるみ安全安心推進事業（市民生活安全対策業務、市民ぐるみ犯罪防止業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◆安心して買い物ができるようにします

◇ 消費者情報を提供します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
84	消費者被害を防止するため、情報の収集及び提供を行い、消費者の自立を支援します。 【消費生活課】	市民が安心して消費できるようになります。	平成 24 年度 646 人であった消費者講座受講者数を 736 人に増やします。	消費者学習支援事業（生活情報提供業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 消費者の保護をします

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
85	消費者被害に的確かつ迅速に対応するため、消費生活に関する相談を充実します。 【消費生活課】	悪質商法などによる被害が抑制されます。	多発する消費者被害の注意喚起を常に行い、被害を減少させます。	消費生活相談事業（消費生活センター運営業務）	26	
					27	
					28	

第6項（政策16） 緑と花に親しむことができるようにします

めざしたい将来像

生きものやみどりと共に暮らすために、みどりの市民力による協働を推進します。そして、人と自然を大切に思いやりの心を持ち、豊かで潤いのある生活ができるまちを実現します。

	実績値			現状値	めざそう値	
	13年度	19年度	21年度	24年度	28年度	32年度
緑地・河川などの自然環境に満足している人の割合	21.1%	22.7%	19.4%	22.0%	23.5%	25%
里やまボランティア活動団体数	3団体	7団体	12団体	14団体	19団体	23団体
花いっぱい運動活動団体数	30団体	59団体	68団体	88団体	100団体	101団体
公園緑地活動団体数	—	129団体	145団体	152団体	164団体	180団体
身近で、緑が守られ、増えていると感じる人の割合	—	—	6.2%	8.2%	13.1%	18%

◆緑を増やします

◇ 公園・緑地を増やします

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
86	子育て、地域コミュニティや防災面から、公園を再整備します。 【公園緑地課】	市民ニーズに合う公園が再整備されます。	毎年1地域ごとに再整備を行います。	地域公園整備事業 （地域公園整備業務）	26	
					27	
					28	
					計	
87	21世紀の森と広場は、多様なニーズにこたえていくための施策を展開し、魅力を高めます。 【公園緑地課】	21世紀の森と広場の魅力を高め、来園者数を増やします。	平成24年度523千人であった21世紀の森と広場の来園者数を700千人に増やします。	総合公園整備事業 （21世紀の森と広場施設整備業務）	26	
					27	
					28	
					計	
88	歴史的な文化や景観向上を図るため、戸定が丘歴史公園の拡充整備を行います。 【公園緑地課】	戸定が丘歴史公園の魅力が高まります。	戸定が丘歴史公園整備が完了します。	特殊公園整備事業 （戸定が丘歴史公園拡充整備業務）	26	
					27	
					28	
					計	
89	公園・緑地を良好に保つため、市民団体による清掃活動を推進します。 【公園緑地課】	使いやすい公園、安心して安全な公園、愛着のもてる公園にします。	地域活動団体数を毎年3団体増やします。	市内公園緑地管理事業（維持管理業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 樹木や花を増やします

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
90	緑豊かで花のあるまちづくりを推進するため、市民参加による緑化を推進します。 【みどりと花の課】	みどりの担い手が増えます。	緑地の保全と緑化の推進に携わる団体を新たに12団体増やします。	市民参加緑化事業 （緑のボランティア関係業務）	26	
					27	
					28	
					計	
91	緑豊かな街並みを形成するため、街路樹の健全育成を図ります。 【みどりと花の課】	まち並み景観、安全性を向上します。	街路樹の平均剪定サイクルを短縮します。	公共用地等緑化事業	26	
					27	
					28	
					計	